

- 今月の内容**
- ・全国の聖徒団を訪ねて(1面)
  - ・お題目の道を歩む(1面)
  - ・一級霊断師養成講習会(2面)
  - ・日蓮大聖人の歩まれた道(3面)
  - ・よろこびちゃんの質問箱(4面)
  - ・岩田先生の心も体も生き生き!(5面)
  - ・よろこび法話(6面)

令和4年  
(2022年)



日蓮聖人降誕800年

# よろこび

聖徒のための情報誌



〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-25-11  
喜助九段ビル702  
九段事務所  
電話 03-6272-9340  
FAX 03-6272-9341  
ホームページ  
www.yorokobi-reidanshikai.jp

発行所  
日蓮宗全国霊断師会連合会

会長 大塩孝信  
編集人 吉田憲由

毎月1回1日発行

よろこびウェブ  
検索



## 全国の聖徒団を訪ねて

兵庫県たつの市 龍光寺聖徒団(石原弘淳団長)  
創意工夫の満ちあふれたお寺



龍光寺本堂

寺で修行を積み、身延に似た景勝の地を選び、明治四十三年に坂日宗教会として法華の道場を開いたのが龍光寺の始まりである。開山上人の行力と奥様(温心院日妙上人)の感応で多くの信者が集まり、龍光寺の基礎は作られた。

醤油と童謡赤とんぼで有名な城下町龍野から、揖保川の清流に沿って北へ車で約五分の所に妙法山龍光寺はある。石原弘淳団長の曾祖父にあたる寂心院日照上人が備中龍泉

石原団長も開山上人と同様、奥様と力を合わせ龍光寺の護持発展に力を尽くしている。毎月第一日曜日の写経会では皆がそれぞれのペースで総要品の書写行に取り組み、



篤信者が描き奉納された龍の天井画

ヨガ教室も月二回のペースで開催され、その様子を奥様がインスタグラムなどのSNSを使って随時発信。自然と人が集まり、お寺を会場に絵画や陶芸の作品展やカリンバ(アフリカの民族楽器)の演奏会があったり、プログラミング教室が開催されたりと、集い場として龍光寺は地域で大きな役割を担っている。

石原団長と奥様の人柄で人の輪がどんどんと広がり、信仰上の相談を受ける機会も増えている。色々なイベントで忙しい毎日でも石原団長の僧侶としての芯はブレない。各種霊断法研修会にも積極的に参加し、今年の冬は三年ぶりに開催される日蓮宗加行所

## お題目の道を歩む

倶生神月守と共に

昭和四十九年開業  
地域に根づいた錦川鍼灸整骨院

北海道妙正寺聖徒団(関正龍団長)

錦川鍼灸整骨院院長 錦川正八さん 七十一歳

錦川院長先生は若い頃、身延の七面山敬心院参拝時に、腹痛(のちに胃腸薬とわかる)を訴えていた方を鍼で治療し

(荒行堂)への入行を予定している。今回で三回目となる荒行では大黒相承を受け、お寺として初めて親大黒様をお迎え出来ることに、檀信徒や聖徒の皆さんも楽しみにしている。

(兵庫県 鳥居恵教通信員)



笑顔が素敵な石原団長と奥様



毎日祈願、毎日供養

たことにより、鍼灸師、柔道整復師の道で生きていくことを決意したという。

鍼灸の学校を卒業後は地元旭川市に帰り、錦川鍼灸整骨院を開業。来年で五十年を迎える。



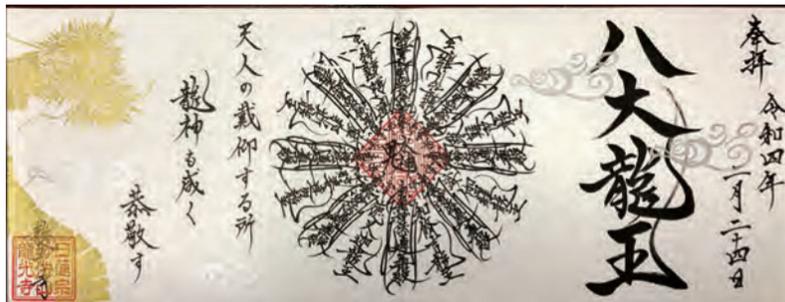
地域に根付き五十年を迎える



奥様と笑顔で!

カラオケ等多趣味であり、中でも卓球はお孫さんと一緒に活動されている。

【アクセス】  
山陽自動車道龍野ICを降りて北へ車で約十分  
中国自動車道山崎ICを降りて南へ車で約二十五分  
姫新線本竜野駅から徒歩約二十五分、車で五分  
国道一七九号線から中道へ、つきあたり神社正面を右折後、すぐ左折。



全国にファンが多い団長の御朱印

日持上人給出の霊場  
**間法寺**  
monpo 間法寺

毎朝 5時30分より  
「朝勤祈禱会」  
毎月 最終日曜日 11月27日  
「盛運祈願会」

〒030-1403  
青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2  
TEL 0174-25-2712  
住職 工藤 堯慎・院首 工藤 堯幸

妙正寺聖徒団  
河野佑星くん(小六)

北海道妙正寺聖徒団  
〒071-1423  
北海道 上川郡 東川町 東町 2丁目6-3  
TEL 0166(82)2714  
FAX 0166(82)2914

いかされるよろこび  
常唱寺 聖徒団

岐阜県美濃市千畝町2738-2  
TEL/FAX 0575(33)1430

本山 妙頭寺  
山佐 日蓮大聖人御真骨奉安

貴首ご法話「ニッキチャンネル」

青藤日軌貫首の著書&CD

日蓮宗の戒壇、その現代的意義  
スリチナル  
チャンネル  
ニッキチャンネル

本著CD  
感通百万遍陀羅尼

〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264  
TEL 0283-22-1524/FAX 0283-22-4194

本妙山  
感通寺聖徒団

〒162-0044  
東京都新宿区喜久井町39  
TEL 03-3209-8782  
FAX 03-3208-7966

# 一級霊断師養成講習会が開催される



真剣に講習会に臨む受講者の面々

九月五日より十日まで名古屋市内のホテルと妙泉寺(石黒泰良研究局局長ご自坊)を会場に、一級霊断師養成講習会が開催された。当講習会は、すでに霊断師の資格を有する方を対象に、九識霊断法と日蓮教学について更なる研鑽に励むべく、全国各地より集まり開催される。

本年は十二名の参加者が、朝から夜までの講習のみならず、講習後も夜遅くまで勉強に勤しむ六日間となった。修了時には末吉観道霊断院院長より「一級霊断師養成講習会の修了、誠にめでたうございませう。今回皆様は、より深く、より多くの人々の助けになる霊断法を習得されました。一級霊断師となつて、これからが本場のスタートです。今後の更なる研鑽と益々の霊断布教につとめてください」とエールを送った。



霊断院院長と共に祈りを捧げる

## 「一級霊断師に認証」

- 愛知県 近藤潮世 上人
- 東京都 細谷穂志 上人
- 兵庫県 鳥居恵教 上人
- 千葉県 月崎了照 上人
- 千葉県 月崎広天 上人
- 三重県 佐々木眞悟 上人
- 宮城県 吉田憲史 上人
- 宮城県 日野教仁 上人
- 愛知県 亀廣志寿江 様
- 島根県 新聞隆登 上人
- 兵庫県 田中真豊 上人
- 神奈川県 田代克彦 上人

## 「講習会参加者の声」

### ①吉田憲史上人

私は今回、一級霊断師養成講習会に参加させて頂き、大変衝撃を受けました。諸先生方の講義を受けていく中で、未熟であり分かっていなかった仏様の教え・日蓮聖人の教えの一つ一つが開かれていく様な感覚を感じました。

これから一級霊断師として、新たに教えて頂いた事を活か

して、檀信徒の方々の悩みにひとつひとつ寄り添って導いていきたいと思ひます。霊断師として仏願仏業を成就すべく、地涌の菩薩としての尊行に取り組みます。

### ②月崎了照上人

何となく分かっている気になってきた疑問が解け、とても充実し、よろこびの多い六日間でした。より深く御本尊の表すものと、それが何故かを丁寧に講習いただき、胸のつかえが取れる思いです。また、合間の先生方や仲間達との語らいでは新たな発見にも恵まれました。

特に荘厳な本堂の中に末吉伝主戒師の元に、心地よい雅楽の流れる中で授職准頂式を受けたことは喜ばしい出来事でした。なんとも言えない感動と共に霊断師としての自覚と役目を再確認できたことは、今後僧侶として確かな糧になると確信しました。

末吉伝主の「これからが皆さんのスタートなのですよ」とのお言葉を胸に、今後はより多くの方に、この感動を伝えていけるように精進して参ります。

### ③亀廣志寿江様

初めて二級の霊断の受講をしてからかなり時間が過ぎたため、少しづつ行けるかどうか心配がありました。思い切つて受講してよかったです。わからないことをすぐに質問ばかりして先生方を困らせたのではないかと不安でしたが、無事に講義を終えてほつとしております。

また、二級で受講が同期の方々ともお話しすることができ、

あの頃を思い出す懐かしいお話ができ、お上人の中に一人混じつて受けたのもとても緊張しましたが皆さまによくして頂きました。コロナ禍のためホテルの中で隔離された大変な時間ではありましたが、しっかり身についたのかと思ひます。

## 愛知県霊断師会

### 管区研修会を開催



石黒講師による解説

九月十三日、名古屋妙泉寺において愛知県霊断師会管区研修会が開催された。コロナウイルス感染対策に万全を期しながら、一年振りの開催となった。研鑽を積もうと、愛知県の各地から十五名が参加した。

新入会員も増えた為、霊断法解説では一つの例題に対して丁寧に時間をかけて解説を行い、深く濃い内容の講義となった。

石黒泰良講師と永田智瑛講師が合計四題の例題を解説し、



永田講師による解説

参加者は何回も深く頷きながらノートにペンを走らせた。質疑応答では多くの質問が寄せられた。また活発な意見交換も行われる中で終了時間を迎え、時間が足りなかったことが惜しまれながら無事円満となった。

コロナ禍に対する社会の寛容化が進んでおり、その時々の時代やニーズに合った研修会の進め方が大切なのではないかと感じられる内容となった。

(愛知県 山川潮悦通信員)



わからないことは  
ほとけさまに相談

## 九識霊断法

くしきれいだんぼう  
悩みを抱えたとき、進路に迷ったときには、九識霊断法があります。これは日蓮大聖人のお教えから生まれた運命鑑定です。幸せな人生のために、よりよき人生のために。

### 相談内容

- 家運 業運 金融 縁談 交渉 取引 選挙
- 訴訟 失物 病氣 就職 受験 人物 移転
- 旅行 企画 など

### 相談例

A君と交際したときの娘の将来

(相談者) 十九歳 女性(会社事務員)

夏に母親が来寺した。今春、高校を卒業した長女が、約半年前から不良のような無職の青年A君(十九歳)と交際している。このまま交際を続けていくと、本人の為にならないのではないか、何か悪いことが起るのではないかと心配。このまま交際を続けてもよいでしょうか、という相談である。

### 【御宝前にて霊断】

#### 【霊断師による指導】

まだ高校を卒業したばかりで心配でしょう。娘さんは両親が思っているよりもしっかり考えているので心配ありません。しかし、A君は娘さんに対してあまり良い影響を与えてる人ではないでしょう。従つて交際も長くは続かないでしょう。娘さんの将来を願ひ俱生神月守を着帯させ、共に幸せを祈りましょう。

### 【結果】

一カ月後、A君は突如として「自衛隊へ入隊する」と言ってきた。そこで交際は終わり、現在は連絡も取っていない。

## 一人で悩まずに九識霊断法

# 第百三十回 日蓮大聖人の歩まれた道

『立正安国論』客八に問う

靈断院教務部長 小泉 輝泰

「客の曰く、もし謗法の輩を断じ、もし佛禁の違を絶たんに

は、彼の経文のごとく、斬罪に行うべきか。もししからば、殺害相加え、罪業何んがせんや。すなわち大集経に云く、『頭を刺り袈裟を著せば、持戒及び毀戒をも、天人彼を供養すべし。すなわちこれ我れを供養するなり。彼はこれ我が子なり。もし彼を搥打することあれば、すなわちこれ我が子を打つなり。もし彼を罵辱せば、すなわちこれ我れを毀辱するなり』と。(中略)主人の曰く、客、明かに経文を見て、なおこの言をなす。心の及ばざるか、理の通ぜざるか。全く佛子を禁むるにあらず。ただ偏に謗法を悪むなり」

(立正安国論)



「成る程貴殿の申されることは、あなたが世迷い言や勝手な思い込みではないようです」

主人の理路整然とした言葉に、客もいよいよ納得をした様子ではあります。しかしそれでも客には、まだ懸念するべきことがあるようです。

「私が目にした『大集経』の経文には『頭をまるめて袈裟を身につけている者には、例え戒を持つ者が持たまいが、いかなる者でも天人は供養するであろう』とありました。そして『もし彼の者に危害を加えるならば、私に危害を加えるのと同様である』とも記されています」

「貴殿が今まで仰せのことが真実であるならば、『法華経』以外を信奉する者はすべて断罪しなければなりません。一方で今私が申した経文もまたこれ佛の言、佛の教えに違はなく、いかなる理由があっても僧侶を害する行為は、その教えに反することにはなるまいか。それもまた罪を作ることになるのではないのでしょうか」

客の心配も最もとも言えます。一方で「法華経を謗る者を断罪せよ、それを怠れば同罪である」と説き、また一方では「僧貌の者には誰であらうと供養し、これを害するならば我が身を害すること同様なり」と説かれる。そのどちらも佛の説かれた「経典」に記されるもので

す。「AをせよBは罪だ」と相反する二つの命に対し、果たしてどちらを信すれば良いものか、これは確かに思案のしどころでしょう。

## リモート沙弥校・僧風林を開催

### 僧風林を開催

八月二十四日(水)に令和四年度沙弥校・僧風林がリモートで開催された。

十九時から二十時三十分までの開催、沙弥校七名・僧風林〇B二名、沙弥校を担当する先生五名が参加した。

はじめに吉田靈由校長が、「昨年に続きリモートでの開催で残念だけれども、一年ぶりに成長した元気なみなさんの姿を見ることができて嬉しい」と挨拶。

参加した沙弥校生と先生は、それぞれの近況報告を行い、一年ぶりに沙弥校の縁する全国の仲間が再会できたよろこびを分かち合った。

また、今年度は事前に吉田校長より郵送された沙弥校参加記



念特別お経本を持ち寄り、リモートではあったが自我偈を誦誦。来年はリモートではない沙弥校・僧風林が開催できるよう祈願が行われ、閉校した。

「BをせよAは罪だ」と相反する二つの命に対し、果たしてどちらを信すれば良いものか、これは確かに思案のしどころでしょう。

その心配する客に対し、主人はこう諭めました。

「貴方は私が挙げた証文をはっきりと目にしながら、また理解が及ばないのですか。先程から私が申し上げているのは、決してその者を憎み害せよの意味ではなく、ただ『謗法』を憎めと申しているのです」



# 「第57回身延大会は、規模を縮小して開催しました」

昨年の第56回大会同様、聖徒団の参加を中止し、少人数の靈断師が身延山に集まっての開催となりました。10月10日(月)に輪番奉仕の後、祖廟にて全国の聖徒団より申し込まれた祈願・回向を行いました。



※写真は過去のものです。

来年こそは身延山へ!! 全国の聖徒の皆さまが一堂に会する身延大会が、来年こそは開催されることを祈っております。尚、今回の身延大会の様子は12月号に掲載させていただきます。

# みおしえ



「いかなる処にも過去聖霊のおはすらん処まで尋ね行き給ひて、彼の聖霊に語り給ふらん。我をば誰とか思食す。我は是れ汝が子息、法蓮が毎朝誦する所の法華経の自我偈の文字なり」

(遺文全 九八五) (昭和定本 九五〇)

『法蓮鈔』 建治元年(一二七五) 聖寿五十四歳

訳…どこであろうと、亡くなられた聖霊のおられる処まで尋ねて行って、その聖霊に向かってこう語られるでしょう。「我を誰と思われるか。我は汝の子息法蓮が毎朝となえる法華経の自我偈の文字である」。

有力な信徒であった曾谷二郎法蓮

は、父の十三回忌の追善回向を日蓮聖人に依頼されました。それに対する返書が本状です。法蓮は自身でも、父の逝去した日から毎日欠かさず供養のためのお自我偈を誦読されておりました。その自我偈の文字が仏へと姿を変え、亡き父の元へと尋ね行き成仏へと導いて下さると、日蓮聖人は力強く説かれております。

私達はお経文を文字として見ますが、お経文はただの文字ではなく、その一文字一文字は唱えられると仏へと変化し、そしてたとえ地獄であろうともどんな場所でも亡くなられた聖霊のもとへとたどり着き、聖霊に救いをもたらして下さいます。

私達が日々お唱えするお経・お題目は、唱えてそれっきりでは決してありません。法華経・お題目は、私達の想いと共に、必ず目的とする故人の元まで届きます。そして、故人へと優しく語りかけ、明るく暖かな光で照らし、大きな安らぎをもたらす、さらには故人を成仏へと導きま

す。そしてまた、このことは故人への供養の祈りに限らず、今を生きている私達への祈願の祈りでも同じことが言えます。大切なあの人の幸せを願う祈り、家族への祈り、自分自身への祈り、その祈りのお題目は決してそのとき限りで消えてしまうものではありません。お題目の光は一度の輝きで消えるのではなく、いつまでも輝き空間も時間も越え私達に力を与え続けてくれております。

自分が唱えたお題目が誰かを優しく包みこんだり、自分もまた誰かのお題目に助けられたり、お題目の光は夜空に輝く星々のようにそこかしこで煌き、そしてその一つ一つの光が集まることで太陽のように大きく暖かな輝きを放ち、私達に底知れぬ力をもたらして下さいます。

お題目の祈りには私達が思う以上に深く大きな力があります。その力を信じ、今月もまた俱生神月守を身に付け、お題目の光をより一層輝かせてまいりましょう。

## おらが寺の守護神(第七回)

### 不動明王

和歌山県和歌山市 安楽寺聖徒団 (吉野俊幸団長)



明三年(一七八三) 禅宗黄檗派に改宗するも長くは続かず、弘化二年(一八四五)

妙道院日行上人が有馬山での修行を終え、この地での法華経布教を決心し、日蓮宗に改宗した。

こちらの不動明王は、和歌山県の歴史文書「紀伊国名所図会」に「不動明王、伝教大師の作、長三尺三寸」と明記されており、代々大切に護持されてきた。

安楽寺は享保十一年(一七二六)正月、長束安兵衛丈好が先祖供養のために、荒廃していた寺院の堂宇を移転再建し、天台宗に属したことが始まりである。天切に護持されている。

## よろこびちゃんの質問箱

### 小松原法難ってなに？

小松原法難とは日蓮大聖人の御生涯で四大法難のうちの一つにあたる法難のことなのよ。

文永元年(一二六四)十一月十一日の夕方、檀越である天津(現在の千葉県鴨川市)の城主工藤吉隆公に招かれて天津へ向う途中、小松原の地(現在の鏡忍寺)を通りかかった時、念仏信者で地頭の東条景信をはじめとする一党の突然の襲撃に遭われてしまったのよ。

この襲撃で大聖人の額には三寸ほどの傷を負われ、必死に防戦した弟子の鏡忍房と護衛に駆けつけた工藤吉隆公は殉死、他の弟子二人も大傷を負われ

てしまったのよ。十月のお会式頃から春にかけて、大聖人の御尊像に綿帽子をお掛けするのよ。

十一月十一日には菩提寺へ行ってご法難のご苦労を思っ、お題目をお唱えしよう。

よろこびちゃんに質問がある方は九段事務所までご連絡ください。



# 身延山でお会いしましょう

## 時鐘 (ときのかね)

明治10年(1877)山梨県の南条講題目結社の建立によるも、昭和27年(1952)焼失し、大映の社長や映画プロデューサー、プロ野球大映球団オーナーなどで名を馳せた永田雅一氏が再建しました。

梵鐘(ぼんしょう)は四国松山城主久松家の祖定頼の正室養仙院殿(ようせんいんでん)の寄進で、延宝8年(1680)に铸造され、31世日脱(にちだつ)上人の鐘銘があります。

毎朝のお勤めが終わると鳴らされます。





# よろこび法話

## ばばちゃんのお守り



本覚寺聖徒団 副団長  
靈断院総務部総務課長  
伊藤秀温

親の言うことは聞かなくても、おじいちゃんおばあちゃんの言うことはちゃんと聞く。じいじとばあばの甘やかし作戦に、キリキリ気を揉む両親と、どっぴりつかの子供たち。どちらの家庭でも見る光景です。先日、毎月の盛運祈願会にお参りくださったお宅へ法事に伺いました。お宅に住むのは名古屋生まれの名古屋育ち、「これで名古屋弁」を使い

こなすご婦人です。お宅へお邪魔すると、一緒に暮らす息子さん家族、嫁いだ娘さん家族、皆が集まり、あちこちでおしゃべり。久しぶりの再会で楽しそうに話しています。中でも目を引くのが、今年から小学校にあがった娘さん方のお孫さん。座布団を運び、お菓子を運び、おばあちゃんの所へ寄って来ては、「次は何する?」「あとは何する?」と、あれもこれもやりたくて仕方ありません。集まった家族中、張りきっている姿を微笑ましく見守り、彼女も誇らしげにしています。不安そうに見ているのはお母さん。「ほそないかな」「落ささないかな」と、我が子の振舞いに気が気ではありません。

法要も準備が整い、いざ始まる。とすると、娘さんが奥の台所でまだ作業をしています。「ママを呼んできてくれる?」とお願ひすると、「うん、わかった!呼んでくる!」満面の笑みでトトト...と、奥へ走って



く。「ママ、お寺さんお参りやらっせるよ」と、家中に響き渡る、おばあちゃん譲りの名古屋弁です。法要前のキリっとした雰囲気も、パツと笑い声でいっぱいになりました。大きな笑い声の中、お母さんも恥ずかしそうにまっかな顔をして部屋の中へ入ってきます。「なむみよーほーれんげーきょー」と、法要が始まれば大きな声でお題目もお唱えします。ここにこそ小さな仏さまが家中を明るくしてくれます。今どこぞ元気に走り回っている子ですが、生まれた時は体が小さく、成長はゆっくりで家族の心配は尽きませんでした。「私のせいで」とお母さんは自分を責め、落ち込んでばかりの日でした。暗く落ち込むお母さんの顔、この母子を何とかしてあげたいと救ってくれたのが、おばあちゃんのお守りでした。「あなたはこの子、この子は私の孫、仏さまが守ってください。このお守りが助けてください。あなたが笑えばこの子も笑う。せつかく授かった子だよ、しあわせにしたろうよ。」不安な毎日の中、おば



あちゃんからもらった言葉とお守りは、お母さんの気持ちを少しずつ軽く前向きにしてくれました。お母さんが落ち着いたからなのか、子供が育ってきたからなのか、だんだんと家の中に笑い声が響くようになっていきました。今では俱生神月守は「ばばちゃんのお守り」と呼んで、家族をつなぐ大切な存在と話してくれます。親から子へ、子から孫へと、無事の成長を願う祈りの心がつながり、今では笑いに包まれる家庭となりました。まだまだ子育て真最中で心配は尽きませんが、名古屋弁で見守ってくれたおばあちゃんとはばちゃんのお守りが、この子の成長を見守ってくれているに違いありません。不安なとき支えてくれるお守りのありがたさを改めて感じられた一幕でした。

本誌イラスト 小川けんいち

毎月身延山で開眼・祈願し皆様の聖徒団に届きます  
●家族みんなで持ちましょう。  
●経営者の方は、是非従業員皆で着帯しましょう。  
(異体同心の職場になります)

全国のよろこびちゃん vol.109

石川県鹿島郡中能登町 本土寺龍華聖徒団 (法花堂見英団長)

西井那由多くん 十二歳 (右)  
西井 輝くん 十一歳 (左)

十月号の二人と合わせて四人はいとこ同士。みんなとっても仲良しです。

俱生神月守

ほつと絵手紙

「ほつと絵手紙」を募集いたします。左記の宛先まで! 〒101-0051 東京都千代田区神田 田神保町3-25-11 喜助九段ビル702 日蓮宗全国靈断師会連合会 九段事務所

愛知県 小川秀雄さんの絵手紙です。ありがとうございました。

砥森山 法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀  
副住職 阿部 是眞

〒028-0304  
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1  
電話 0198-67-3166  
FAX 0198-67-2227

安房乃國隨一 三十番神祈願道場

顕本寺聖徒団 団長 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」  
〒295-0002  
千葉県南房総市千倉町川合690-1  
TEL 0470-44-1062  
FAX 0470-44-1524

長栄寺聖徒団 磯部 佳代さん

毎月の御守を戴き感謝しています。

三松山 長栄寺  
〒100-0402  
東京都新島村本村3-1-4  
TEL 04992(5)0168  
FAX 04992(5)0111

利生寺

靈断院院長 利生寺聖徒団団長 末吉 観道

〒930-0055 富山県富山市梅沢町3-16-10  
TEL 076-421-8776 FAX 076-421-8250

正蓮寺

日蓮宗靈断師会連合会 会長 正蓮寺聖徒団 団長 大塩 孝信

〒290-0151 千葉県市原市瀬又134-1  
TEL 0436-52-0207  
FAX 0436-52-2288